



コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 増加する空きスペースの有効活用 西浦明子さん

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

増加する空きスペースの有効活用



西浦明子 (にしうら あきこ)

軒先株式会社 代表取締役

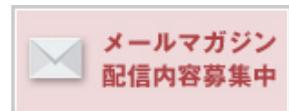
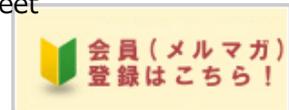
1969年生まれ。大学卒業後、ソニー株式会社入社。

1994年にソニー・チリに駐在、2000年に退社。その後、All About Japanにて広告営業に従事。2001年から2006年まで株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントに所属した後、財団法人日本国際協力システムで政府開発援助関連業務に従事、2007年に出産を機に退職。2008年4月、軒先.comを設立、2015年1月28日に軒先ビジネスに変更し、さらに便利に・快適に利用できるサイトに全面的にリニューアル。2009年1月ベンチャーフェアJapan2009「最優秀賞」、2012年11月第3回日本起業家大賞(TEAJ)パイオニア賞を受賞するなど注目のベンチャー企業である。

－軒先ビジネスを設立するに至った経緯を教えてください－

1991年に大学を卒業し、メーカーに就職しました。それから17年、転職や様々な業務を経験し、出産を機に一旦退職することになりました。ちょうど40歳という年齢が見える頃でしたので、それまでのスキルや経験を活かすことができ、かつ自分自身でタイム・マネジメントができる事業を立ち上げようと考えました。

過去、海外駐在の経験がありましたので、まずは、日本人に馴染みがあまりない雑貨を輸入・販売す



もっと詳しく検索する

る事業を行おうとしました。どういった雑貨が売れるのか、見定めが必要でしたので、テスト販売のために店舗を探しました。しかし、短期で借りることができる店舗はほとんどありません。あったとしても、3坪で賃料が1週間21万円という価格であり、しかも半年先まで予約すら取れないという状況でした。

1週間程度の短い期間でも店舗を開設したいと考える人は確かにいるはずで、「机」と「のぼり」さえあればどこでも気軽に販売できる、そういったビジネスが成立するのではないだろうか。また、建物の軒先など使われていない空きスペースはまちなかにたくさんあり、「貸したい人」と「使いたい人」をマッチングさせることは双方にとってメリットがあるのではないだろうか。そのようなアイデアを紡ぎ、具体化させ、半年後、「軒先.com」というサイトを立ち上げました。今まで賃貸借の対象になかったスペースの所有者が「貸す人」となり、そのスペースで事業などを行いたい人が「使う人」となり、「軒先.com」が1日単位でマッチングするというサービスです。双方にとってメリットが大きく、このサービスへの期待は大きいと感じました。立ち上げから半年後の2008年秋にリーマンショックが起こったこともあって、スペース提供希望者も増加、2009年4月に法人化しました。

スイーツのアウトレット販売



1 2 3

登録日 2015年3月11日（水曜）00:00





[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 増加する空きスペースの有効活用 - 2ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

増加する空きスペースの有効活用

- どのようなスペースがどのように使用されているのでしょうか -

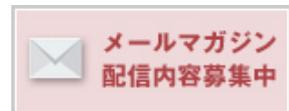
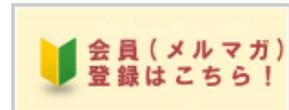
建物の空きスペースだけでなく、定休日の店舗、さらには店舗併設の駐車場の一角など、車が一台分停めることができるくらいのスペースがあれば、1日単位で貸し出すことができます。

用途も多岐に渡ります。肉巻きおにぎりやクレープなど移動販売車による出店、青果や雑貨などの物販、保険の販促、さらには国際NGOによるキャンペーン会場として使用されたこともあります。最近では、若い個人事業主が移動販売車を改造し、カフェを手がけるケースも増えています。一昔まえの屋台のイメージとは異なり、内装もおしゃれです。サロンを開く女性も増えており、スペースを借りて、ネイルサロンを行ったり、教室を開いたりするケースもあります。その他にも、音楽会社が企画する新人アーティストのミニライブ会場として使用されることもあります。

- 軒先ビジネスの特長はどのような点にあるのでしょうか -

これまで使われていなかったスペースが瞬時に収益源となる点が最大の特長です。“貸すことができる”とっていなかったスペースでも、利用したい人さえいればそれは収益源になります。さらに、にぎわいも演出することができますので、空いている駐車場をスペースとして貸すなど、本業に近いスペースを提供することによって、一定の集客効果も見込めます。

また、導入コストが一切かからないという点も特長のひとつだと思います。貸主の方がスペースを提



もっと詳しく検索する

供するにあたり、追加投資を行うことなくそのままの状態で貸し出すことができるのはもちろんのこと、貸主と利用者との契約以前の運用やサイトへの掲載などにかかる費用負担もありません。

ドラッグストア前でのカブトムシ販売



－逆に利用のための制限はあるのでしょうか－

例えば、店舗の駐車場を利用する場合、店舗で販売している商品を取り扱うことは店舗側に認められなかったり、焼き鳥などの匂いがする商品はだめだったりなどはありますが、基本的には貸主と利用者の条件が合致すれば特段制限となるようなこともありません。



駐車場でのランチ販売



1 2 3

登録日 2015年3月11日 (水曜) 00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省 (法人番号 4000012090001)
主催/経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局/株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 増加する空きスペースの有効活用 - 3ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

増加する空きスペースの有効活用

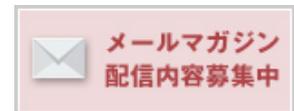
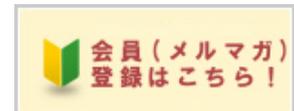
- 軒先ビジネス以外にはどのような事業を手がけていらっしゃるのですか -

軒先ビジネス以外には、軒先パーキングや軒先シェアサイクルなどがあります。

軒先パーキングは、使用していない自宅の駐車場、未契約のままの月極駐車場、空いているマンションの駐車場などを軒先ビジネス同様、1日単位で貸し出すという取組です。ターミナル駅の周辺、イベント会場の周辺で駐車場を探すことはとても大変です。車で現地まで向かったものの、駐車場が空いていなかったという経験をされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。軒先パーキングでは、サイトにて目的地周辺の駐車場を事前に予約することで、確実な駐車が可能となります。また、迷惑駐車を減らすこともできます。さらに駐車場の提供者にとってもメリットがあります。特に、都心では、車を所有していないものの、自宅に駐車場はあるという高齢者が増えています。使っていないものをシェアすることによって、所有者の収益源となります。

軒先シェアサイクルは、2013年7月にリリースされた個人間の自転車シェアサービスです。自転車を貸したい個人は当然ながら、レンタサイクル事業を営む店舗の方がレンタサイクルの予約サービスとして使うことも可能になっています。

- 2015年1月、「軒先.com」が「軒先ビジネス」へとリニューアルされました。今後、どのように事業を発展させていく予定ですか -



もっと詳しく検索する

経営理念に「軒先から始めよう、最初の一步」と掲げているように、夢を目指して頑張るチャレンジャーの応援、起業家が育ちやすい社会作りに貢献したいと考えています。実際、「軒先ビジネス」へのリニューアルにより、今後は、空きスペース情報だけにとどまらず、スペース利用者の事例紹介や出店予定、プロフィールなども公開し、スペース利用者の集客や販売支援まで行います。「スペースマッチングサイト」をさらに発展させ、「出店者支援サービス」としての機能を充実させることで、スペース利用者の短期出店を支援していきます。

また、今後、「所有から利用への転換」や「シェア」などといったキーワードはさらに重視されるようになって考えています。“マイナスに増える”ものに注目し、マイナスをマイナスのままに捉えるのではなく、用途などを変えることでプラスの財へと転換していくという発想が大切だと考えています。そのひとつとして、全国の“もったいない”空きスペースを活性化させ、日本全体が元気になる一助となればと思います。

目黒川近くマンション（花見期間利用中）



【事務局コメント（編集後記）】



空き家、空き店舗問題に代表されるように、既存ストックが社会に対して影響を与えるケースが顕在化しつつあります。西浦さんは、「マイナスのものに注目し、マイナスのものをプラスの財に変える」といった、これまでの固定観念を脱し、柔軟な発想で、物事を改めて捉え直し、その結果、新しい事業を創出することができました。西浦さんが次にどういった点に注目するのか、期待が高まりますね。



 シェアする Tweet

1 2 3

登録日 2015年3月11日（水曜）00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.